

## 第7回 KPU シンポジウム報告書

2016年4月28日(木)、京都薬科大学・躬行館 T31 講義室において、第7回 KPU シンポジウムを開催しました。特別講演として国立がん研究センターの濱田哲暢先生ならびに熊本大学大学院の杉本幸彦先生をお招きし、それぞれ「がん化学療法分野における個別化医療に向けた PK/PD 解析：TDM makes ‘personalized’ medicine more ‘precise’ medicine」および「プロスタグランジン E2 による炎症惹起の分子機構」という演題でご講演頂きました。また、一般講演として斎藤博幸教授、木村寛之准教授および中田 晋准教授の3名の学内教員によりこれまでの研究内容についてご紹介頂きました。合計 350 名の多くの学生および教職員の方々がご参加下さいました。また、シンポジウム終了後に開催した交流会では、多くの学部学生が特別講演および一般講演の先生方を囲んで質問しており、活発な討論が続きました。今回も座長をご担当頂いた先生方をはじめ多くの先生方からの多大なご協力を頂きましたことを深謝致しますとともに、今後とも引き続きご協力頂きますようお願い申し上げます。

KPU シンポジウム実行委員一同

## 第7回 KPU シンポジウム概要

日時：2016年4月28日（木）14：00～16：40

場所：京都薬科大学・躬行館3階 T31 講義室

開会の挨拶

後藤直正 学長

一般講演1 14：05～14：30

座長：北出達也 教授

「アポ A-Iによる HDL 産生反応の物理化学的機序」

斎藤博幸 教授（薬品物理化学分野）

一般講演2 14：30～14：50

座長：濱 進 講師

「分子イメージング技術を用いた新しい診断法の開発」

木村寛之 准教授（代謝分析学分野）

一般講演3 14：50～15：10

座長：藤井 正徳 准教授

「脳腫瘍マウスモデルにおける癌幹細胞の特性解析と治療標的の探索」

中田 晋 准教授（臨床腫瘍学分野）

特別講演1 15：20～16：00

座長：栄田敏之 教授

「がん化学療法分野における個別化医療に向けた PK/PD 解析

TDM makes ‘personalized’ medicine more ‘precise’ medicine」

国立がん研究センター 先端医療開発センター

臨床薬理トランスレーショナルリサーチ分野

分野長 濱田哲暢 先生

特別講演2 16：00～16：40

座長：加藤伸一 教授

「プロスタグランジン E2 による炎症惹起の分子機構」

熊本大学大学院生命科学研究部（薬学系）

薬学生化学分野 教授

教授 杉本幸彦 先生

閉会の挨拶

加藤伸一 教授

茶話会 16：40～18：00



国立がん研究センター  
濱田 哲暢 先生



熊本大学大学院生命科学研究部  
杉本 幸彦 先生



後藤 直正 学長



斎藤 博幸 教授



木村 寛之 准教授



中田 晋 准教授



KPU シンポジウム委員長  
加藤 伸一 教授



講演会場



茶話会